

コーヒーブレイク



私にとってのサッカーとは

会員 米田 秀之 (60期)

皆さんは、法曹サッカー全国大会をご存じだろうか。毎年1回晩秋に各地方の弁護士会のサッカーチームが一堂に会して競い合う“お祭り”である。2007年度の同大会は、横浜・静岡共同開催ということで、御殿場にて盛大に行われた。

当時修習生であった私も、実務修習中にお世話になった兵庫県弁護士会サッカー部（神戸チーム）のメンバーとして、同大会に参加させてもらうことになった。実はこのチーム、大会初参加だったのであるが、1年近く、同大会を目標に和気藹々と練習を積んできた。振り返ると、私も勉強そっちのけでこの練習に参加していた。法曹としては、先輩・後輩なのであるが、一度グラウンドにいればチームメイトであり、練習後にはただの飲み仲間になってしまう。そして、メンバーのプレーを酒の肴に盛り上がる。実に楽しかった。

話を大会に戻そう。初戦の相手は優勝候補の一角である東京1チーム。事前の情報では相当強いとのこと。実際のところは…本当に強い！上手い！！かたやこちらは、経験者半分・初心者半分の混合チーム。試合は次

第に劣勢となり、自陣に押し込まれる時間帯が続く。ただ、こちらにも意地とプライドがある。ゆえに、チームの皆は必死の形相で相手に食らい付く。かくいう結果は…0対1の惜敗（最終的に東京1チームは準優勝したとのこと）。しかし、第二試合は…壮絶な戦いの末、1対0の辛勝という結果を勝ち取ることができた。結局我がチームは上位トーナメントに進出することができ、15チーム中7位という結果で大会を終えることになった。

7位という結果の評価は自分の中でも難しい。ただ、元Jリーガーやフットサルのセミプロ？といった猛者も紛れ込むなかで、皆が一生懸命に走り、持てる力を出し切ったということだけは確かだ。関西人ベースのためか、声援・野次はピカイチだったように思う。プレーの内容はともかく、皆で参加し、皆で大声を出す。それが我が神戸チームのスタイルである。「本当に良いチームですね」と、声を掛けて頂いたのが嬉しかった。笑顔にも自信がある。皆なんと清々しい笑顔をしていることか。

試合展開に一喜一憂した楽しい時間は、こうしてあっという間に過ぎていった。

神戸を離れ、東京にてボールを追い掛ける週末が続く。漫画「キャプテン翼」にはまり翼くんを目指した幼少期。がむしゃらに上手くなりたかった学生時代。体力の低下に抗おうとボールを追い掛ける今現在。私にとってのサッカーとは、本当に魅力的で、色褪せない存在である。

今年の法曹サッカー全国大会では、どんな楽しい時間が待っているのだろう…。うん、楽しみである。

